

「午前3時のカミングアウト」 タカシ

40代 陽性歴：10年 服薬状況：現在休薬中 職業：サラリーマン

早寝早起きの僕にはめずらしく、遅い時間にあるバーに飲みに行った。その日は仕事で延々と出口の見えない会議が夜遅くまで続いていて、疲れているし平日なんだけれども、そのまま帰りたくない気分だった。そんなときに一人でぶらっと行くところがあるっていうのはいいもんだね。なんだかんだといいながら開店当時からお世話になっている店なのに、こんな時間に一人で行くのは初めてかもしれない。1時過ぎというのに、けっこうお客さんがいる。しばらくなんということもない話で盛り上がっていたんだけど、やがて一人、二人と帰っていき、気づいたらママと二人きり。今度はなんとなくしみりした話題に。そういえばこういうシチュエーションは今までになくて、ゆっくり話したこともなかったかも。こんな機会はあまりないかなと思って、ちょっと思い切ってプライベートなことを話したりしてみた。仕事のことや、パートナーのこと、親の老後や、自分の健康の話とかもね。

「あのネ、〇〇さん。特に隠していたわけでもないんだけど、わざわざ言うことでもないかと思ったりしてね。いつもほかにお客さんが居たりして言い出せなかったんだけど、なんとなく知っておいてもらおうと、うれしいかもしれないかとも思って……。」

“さりげなく切り出す” っていうのはなかなか難しい。

「ちょっと、ちょっと待って、ちゃんと聞くから」

と言って、洗い物の手を止めて、何事よ？って顔で正面を向き直してくれた。

「僕ね、HIV陽性なんだ……」

「あら、そうだったの……。私はね、かれこれ1年くらい抗体検査に行ってなくて、実のところ陽性だか陰性だか分からないのよ。行かなきゃ行かなきゃって思ってるんだけどねー。ほら、『近いうちに食事でも』って言うておいて、近いうち近いうちって言いながら、うやむやになることって多いじゃない。そんな感じに似てるかしらね。」

その例えはちょっとピンとこなかったんだけど、なんだか妙におかしくて大笑いしてしまった。商売柄か、人柄か、よくお客さんの打ち明け話を聞くらしく、最近“HIVねた”が多いそうだ。

「ついこの間もその席で、若い子が『陽性だった』って大泣きしていったばかり。でも、タカシさんはさすがにしっかりしてるのね。いつ陽性だって分かったの？」

「8年前」

「8年…8年か……。それは大変だったわね……」

そう言われてちょっとウルウルしかけたけど、かろう

じてセーフ。でも、うれしかった。なんだか、ねぎらつてもらったように聞こえてね。ありがとう。

その後、ママの知的欲求に応じて、HIV事情を最新バージョンにアップデートしていたら、すっかり夜が明けてしまった。二人で、業務用ごみ収集シールを貼った

ゴミ袋と、使用済みのおしぼりの入ったコンテナをひとつずつ持って店を出たら、外は明るくてカラスの鳴き声が聞こえていた。泥のように疲れていたけど、ときにはこんな朝も悪くないよ、ホント。

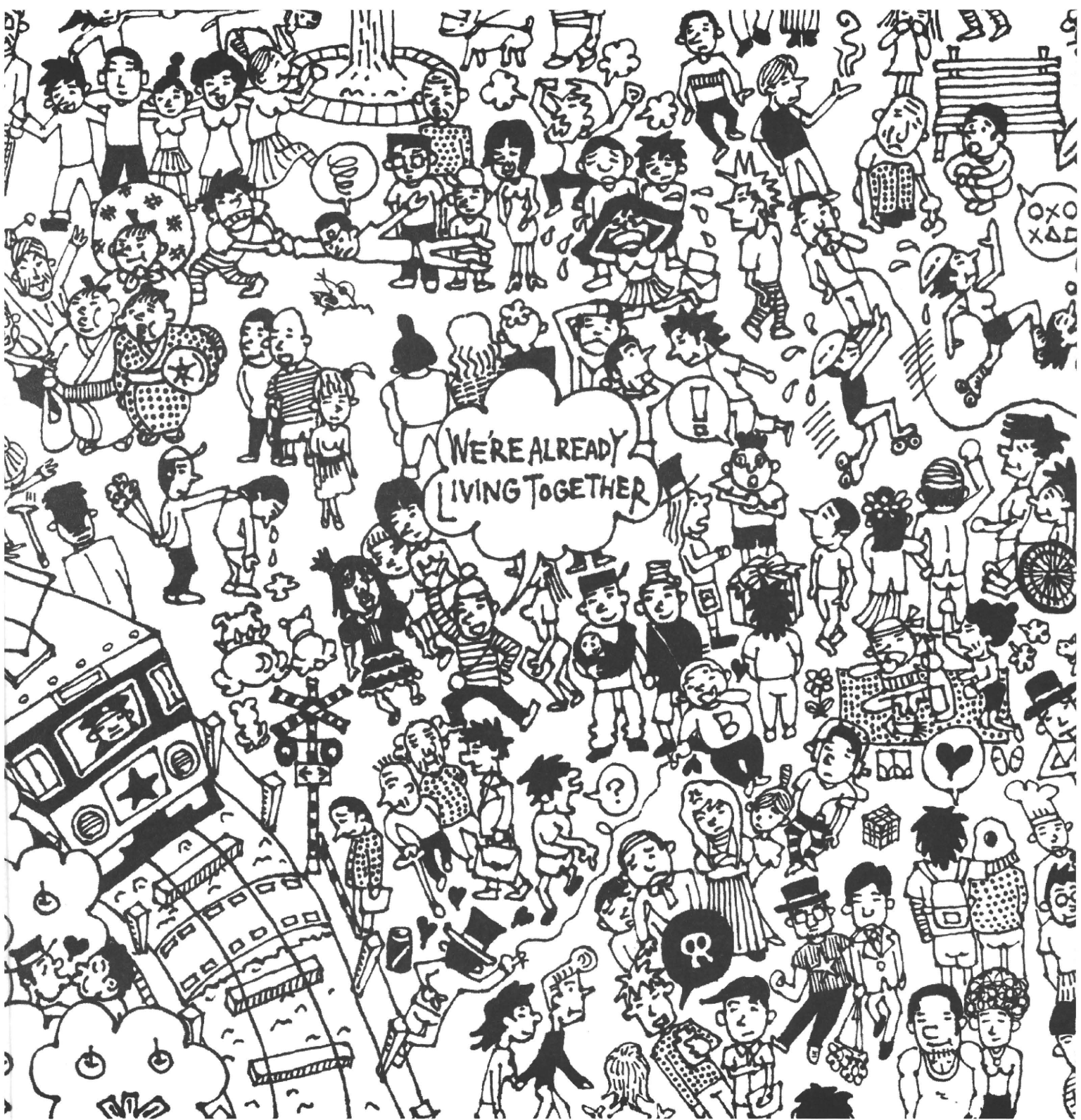
僕らの街の身近な出来事

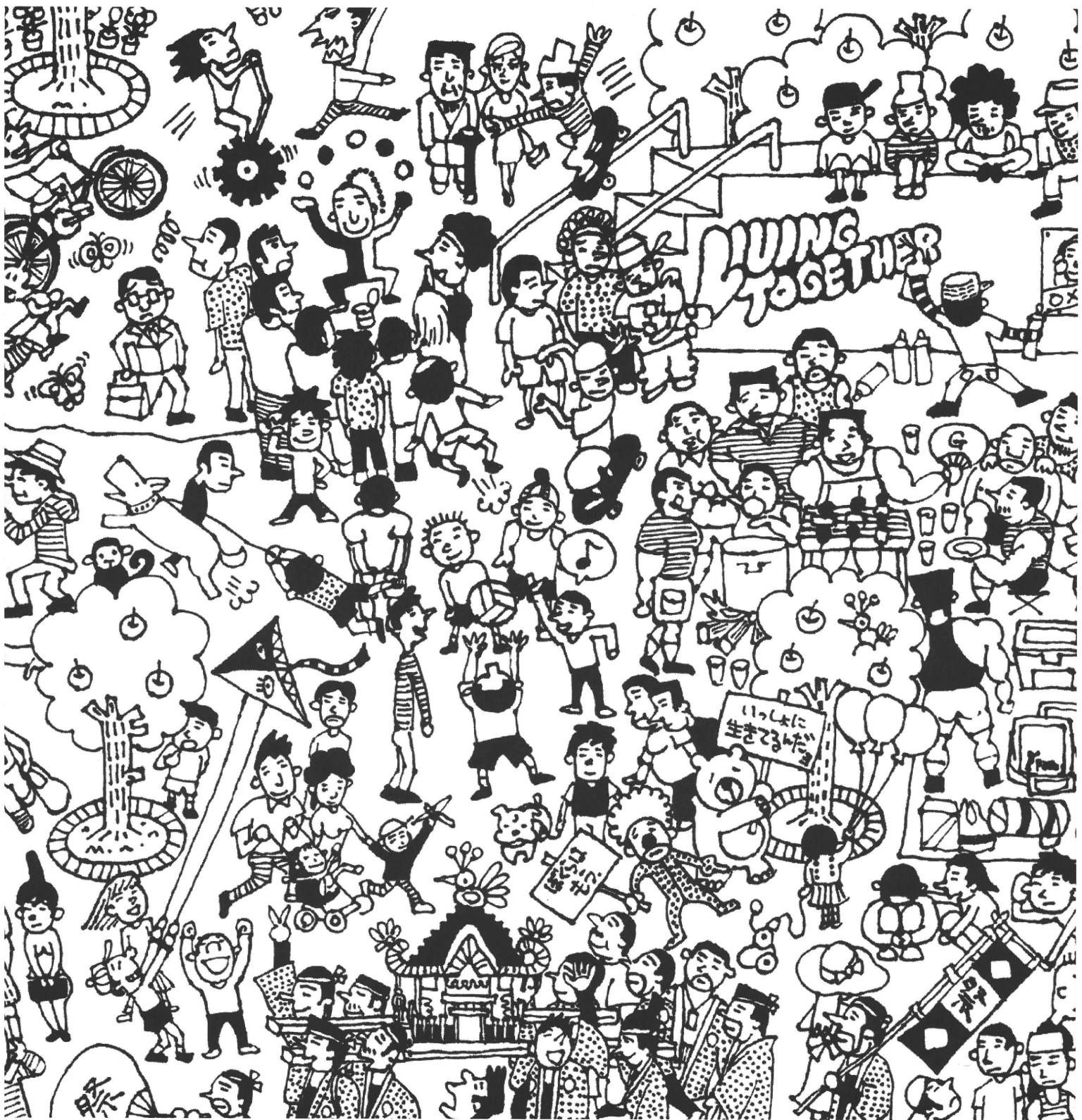
感染を知った直後には、今後のことをいろいろと想像して、「結果を聞いた当日は眠れませんでした」という人もいます。そんな時には、具体的に何かして欲しいという訳ではなく、「その大変さ」、「不安さ」をわかって欲しいという気持ちで、周りの誰かに電話をかけたり、一緒に食事に誘うことがあるようです。

でも、聞いた側に準備がない場合には、パニックに陥ることもあります。自分が大変な時に、伝えた相手のことまで心配しないといけないという辛い立場に立たざるを得ない場合もできます。ですので、必要に応じて、相談サービスなどを利用しながら、気持ちを整理しつつ、伝えるのかどうかを慎重に決めるのもいいでしょう。

これまでに累計で5000人以上のゲイ・バイセクシュアル男性の感染が報告されていますが、この感染に気がついている人たちは、全体の3～4割に過ぎないという説もあります。感染しているけれども、その事実を知らないで生活している人が、実は多くいるということです。

僕らが暮らしている街の、様々な場所で、HIVに関する情報にふれる機会が増えてきました。それは必ずしもセックスにまつわる場面だけのことではありません。友達の話だったり、元彼のことだったり、行きつけの場所のスタッフのことだったりします。そして何よりも、私たち一人一人にとって、とても身近なことでもあります。これまで、なんとなく口に出すことに抵抗があったと思います。でも、少しずつこの事について、話し合えたらいいなと思います。一人一人が自分のペースで出来る一歩から、誰もが住みやすい街が広がっていきます。





"REAL" LivingTogether

第一・五版

発行:エイズ戦略研究・MSM首都圏グループ <http://www.hiv-map.net/>

協力: BADI / (株)古川書房 / SAMSON / Booty / TANKTOP / JaNP+ / ぶれいす東京 / RainbowRing / LivingTogether計画

写真: Hiroyuki Takenouchi / Yukio Cho デザイン: MMKG <http://www.mmkg.net/> イラストレーション: ノリ助

企画編集: 生島 嗣 / 岩橋 恒太 / おやかた / 張 由紀夫 / 矢島 嵩

お問い合わせ先: エイズ予防のための戦略研究事務局 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-22-46 ザ・テラス204 特定非営利活動法人 ぶれいす東京内

TEL: 03-3361-8964 (担当: 加藤、生島) E-mail: senryaku.tokyo@gmail.com

発行2008年 無断コピー・転載お断り

このブックレットは厚生労働科学特別研究事業「エイズ予防のための戦略研究」(研究リーダー: 市川誠一)により作成されました。





ReadyGo!

ろ う 者 の た め の H I V 入 門



これまでに作られてきたHIV/AIDSの感染予防や、すでにHIVを持っている人に向けられた支援などを目的に作られた冊子は、ろう者(聴覚障がい者)にとって「分かりにくい」、「むずかしい」、「情報がうまく伝わらない」ものが多いと感じてきました。

「この冊子はわかりにくい。」

「あの冊子は読みづらい。」

そんな、ろう者の悩みにふれるにつけ、私たちはとても困っていました。

このため、最近では、聴こえる人たちと同じように、ゲイのろう者にも、HIVに感染する人が増えています。

わたしたちは、どうしたら、ろう者にHIV/AIDSに関する情報をスムーズに伝えられるかを考え、「わかりやすい!」「これなら理解できる!」と思ってもらえる冊子を作ろうと思いました。

タイトルの「Ready Go!」は、ラグビーで使われる言葉で、「準備はいいか?」「行くぞ!」という意味があります。ろう者にとって、わかりやすいHIVの情報を発信するのは、これがはじめてかもしれません。

もうすでにたくさんの「問題」をぼくたちは抱えているけれど、それでも前進していくぞ! そんな思いをこめています。












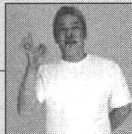








ReadyGo!

※この冊子は、ろう者のために作られていますが、聴こえる人も見ることもあるため、手話表現と日本語が完全には対応していない部分があります。

Contents

- 4 HIVとは？
- エイズ(AIDS)とは？ 6
- 8 手記 「前を向いて生きる」
- HIVがないところ 10
- 12 HIVがいるところ
- コンドームの着け方 14
- 16 HIVがうつる(うつさせる)行為
- HIVがうつらない行為 18
- 20 手記 「HIVと優しさを受け取って」
- 相手と自分を守るには 22
- 24 セーフアークスをするためのチェックポイント
- HIV検査の手順 26
- 28 HIV検査で知ってほしいこと
- 手記 「なんとか頑張ってるよ」 30

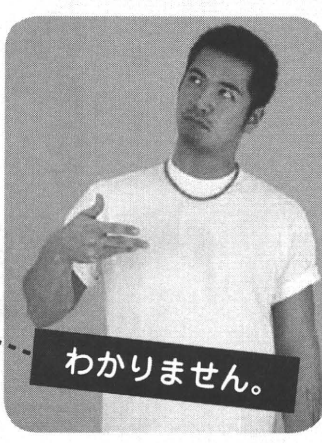
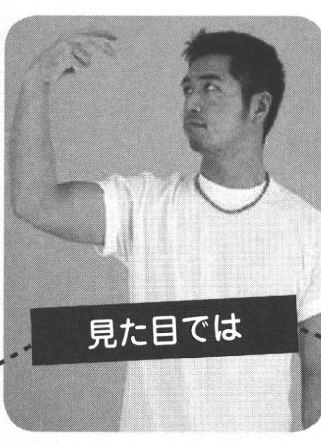
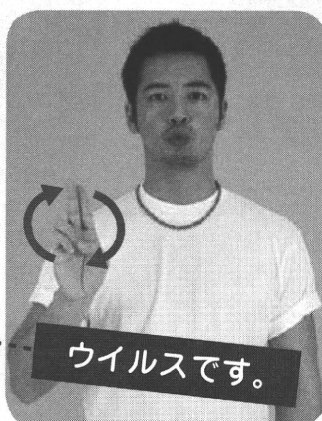
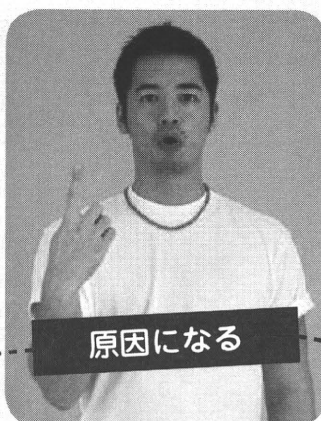
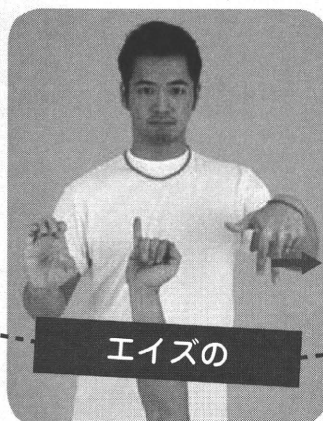
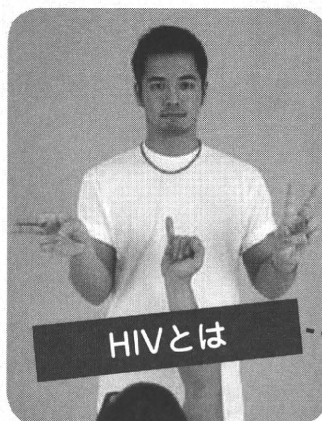
Contents

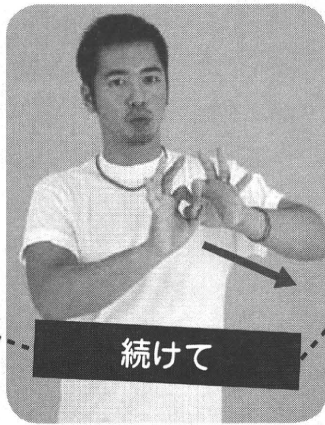
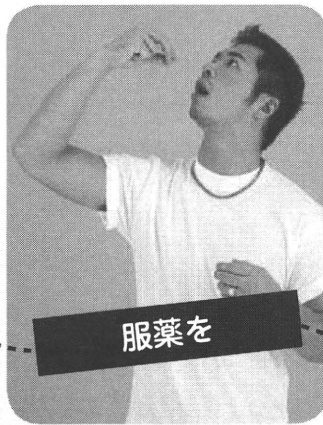
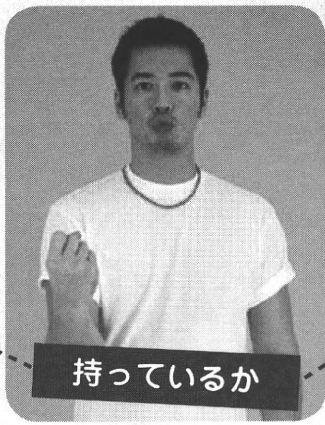
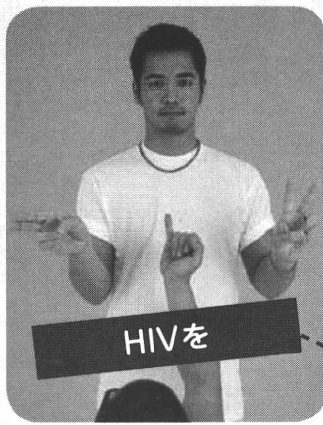
	4	
	6	
	8	
	10	
	12	
	14	
	16	
	18	
	20	
	22	
	24	
	26	
	28	
	30	
	32	

HIVとは？

HIVはエイズ発症の原因になるウイルスです。感染していることをHIV陽性、HIV+（ポジティブと）いいます。HIVを持っていても、目に見える症状は現れないので、見ただけではHIVを持っているかどうかわかりません。また、感染していても、本人が気がつかないことがあります。そのため、確認するためには、HIV検査で調べる必要があります。コンドームな

しのセックスでHIVをやりとりすることはありますが、日常生活では感染の心配はありません。現在のところ、体の中のHIVを取り除く方法はありません。しかし、薬によって体内のHIVの量を抑えることができます。HIVを持っていることに早めに気付くことができれば、HIVをコントロールしながら生活していけます。

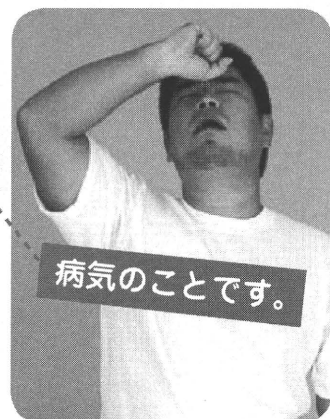
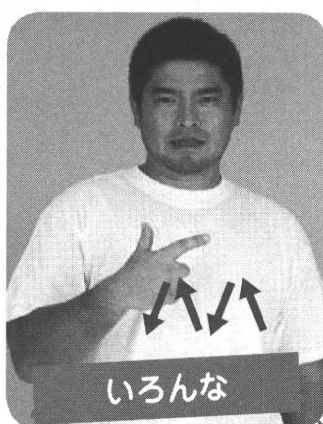
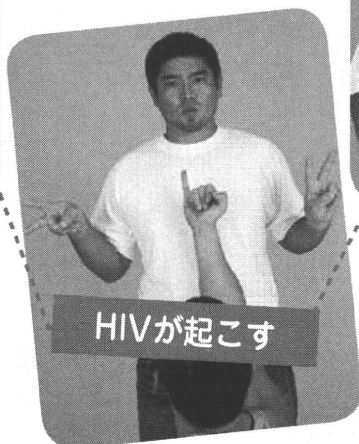
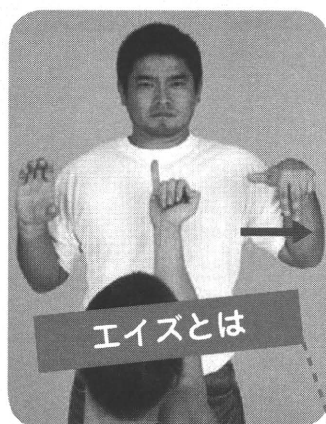


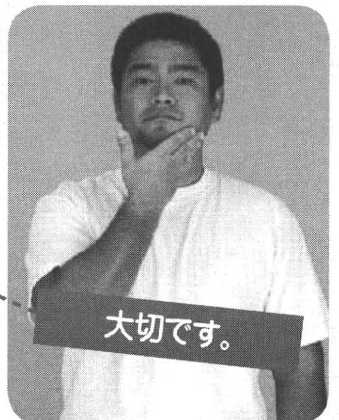
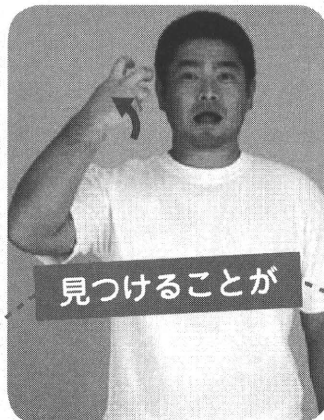
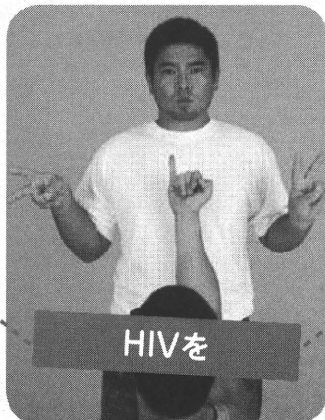
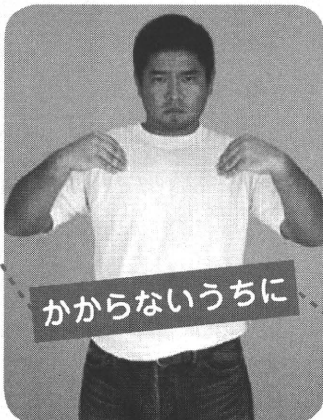
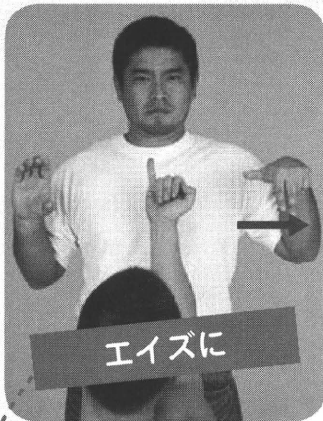
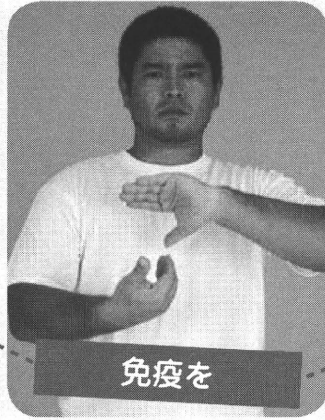
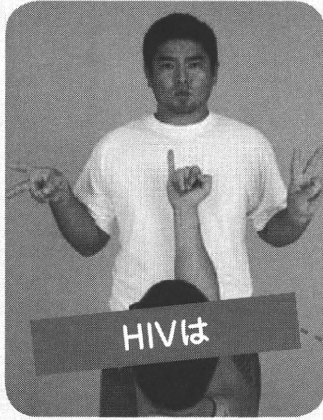


エイズ(AIDS)とは？

エイズ (AIDS) とは、HIVを持っていることが原因で起こる様々な症状のことをいいます。初期症状としては、全員ではありませんが、下痢や高い発熱がでることがあります。気付かずに治療しないでおくと、肺炎や肉腫といった、命に関わる病気を引き起こします。HIVが体内で増えると免疫力が弱まるので、健康なときであればかからないような病気にもかかってしまうのです。HIVに感染しても、エイズ(AIDS)を発

症するまでは人によって個人差が大きく、1年くらいで症状が出る人もいれば、10年くらいになにも症状が出ない人もいます。エイズ (AIDS) を発症しても多くの症状は治療が可能です。中には治療が難しい症状もあります。HIVを抑える治療を受ければ、エイズ(AIDS)を引き起こさずに、健康な人と同じように生活していく事ができます。





「前を向いて生きる」

ピンクパンサー

30代／感染判明歴:3年／職業:OL／千葉県

2週間くらい熱が続いていて、なかなか下がらなかったの
で、病院に行きました。定期的にHIV検査を受けていたので、
感染したことを早い時期に気付く事が出来ました。

それでも結果を聞いた時、信じられない気持ちでいっぱい
でした。これまで安全なセックスをしていたのに、なぜ感染
したんだろうと言う事で失望し、ナイフで胸を刺されたよう
な気分になり、すごく落ち込みました。梅毒やB型肝炎にも
かかっていたため、HIVにも感染しやすかったのだろうと
医者の説明を受けました。理解がある医者で助かりました
が、HIVに関する説明は専門用語が多くて、理解するのに時
間がかかりました。医者からももらった資料はHIVに関する
知識を得るのにとっても役に立ちました。

診察の際、手話通訳の派遣をしてもらおうかと考えた事も
ありましたが、ろう者の世界は狭いし、私のことを知られる
不安があり、怖くて利用できませんでした。

感染したことをまず、付き合いしていた彼氏に伝えました。
彼自身も感染しているのではないかと心配になって、検査を
受けてもらいました。その結果は、幸いなことに陰性でした。

彼は私を受け止めてくれました。今はもう別れましたが、良
き友達として時々、相談をしたり一緒に食事をしたりしてい
ます。

私はしばらく、このHIV検査結果は、間違っていると思っ
ていました。「自分が感染した」と認知するのに時間がかか
り、そのことを思うたびにたくさん泣きました。付き合い
ていた彼氏が「いつまでも泣いているばかりじゃ、いつにな
っても変わらないよ」と言ってくれたし、看護師をしている私
の友達にも相談しました。「昔とちがって死ぬ病気ではない」
と励まされ、私以外にも感染している人が多くいると知り、
考えを少しずつ変えてたくましく生きて行こうと心に決め
ました。

私はろう者の友達2人をエイズで失いました。感染して
いることを知るのが遅れたため、エイズを発症していたそう
です。それを聞いて、私はすごく悲しくなりました。ろう者
にとっては、必要な情報を得る機会が少ないのではないかと
思います。この冊子が少しでも役に立ってもらえればと思っ
ています。



HIVがないところ

唾液(つば)、汗、おしっこ、うんこ、涙(なみだ)には、HIVは含まれていません。触っても感染のキケンはありません。

しかし、ウンコには他の感染症のキケンがあります。触ったり、口に入れることは注意が必要です。

詳しく知りたい方は、巻末の相談所に相談してください。



唾液(つば)

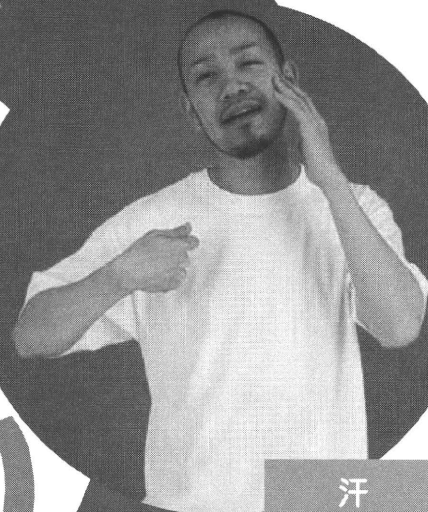


ウンコ



HIVが
いない

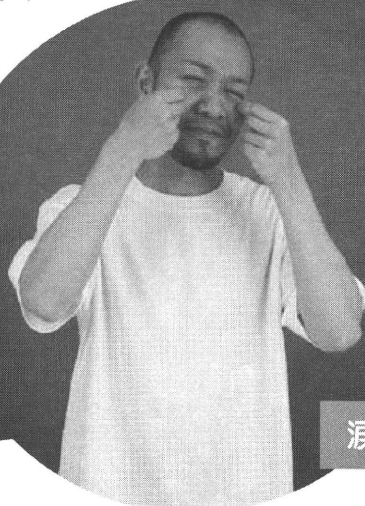
汗



おしっこ



涙(なみだ)



HIVがいるところ

血液、精液、先走り、母乳には、HIVが含まれています。
粘膜や傷口を通して体内に入ると、HIVに感染するキケンがあります。

